

平成19年7月

新規受託項目のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始することとなりましたのでご案内申し上げます。今後とも宜しくご利用の程お願い申し上げます

謹白

記

検査項目名称	ヒ脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP)
検体量・保存	0.5ml 冷蔵
容器・保存	血清 (容器記号①) または血漿 (容器番号⑧)
実施料	140点 (生化学Ⅱ)
所要日数	2～4日
検査方法	ECLIA法

算定における留意事項

- (ア) ヒ脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP) 精密測定及びヒ脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP) 精密測定は、心不全の診断又は病態把握のために実施した場合に月1回に限り算定する。
- (イ) 1週間以内にヒ脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP) 精密測定、ヒ脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP) 精密測定と本区分「22」のヒ心房利尿ペプチド (hANP) 精密測定を併せて実施した場合は主たるもののみ算定。
- (ウ) 本検査を実施した場合は、診療報酬明細書の摘要欄に本検査の実施日 (ヒ心房利尿ペプチド (hANP) 精密測定を併せて実施した場合は、併せて当該検査の実施日) を記載する。

【概要】

●NT-proBNP の特徴

1. 血清 (及び血漿) での測定が可能 (他の生化学項目と共用が可能です)
2. 保存安定性が高い (冷蔵での検体保管が3日間可能: 追加依頼が可能)
3. 血中半減期が長いため、重症度をよりダイナミックに反映する

●BNP と NT-proBNP の違いについて

1. カットオフ値が異なる (BNP: 18.4 pg/ml NT-proBNP: 125 pg/ml 以下)
2. データの乖離する検体が見られる (代謝消失が少ないため早期陽性化する・代謝プロセスの違い等)
3. 腎疾患では共に影響を受けるがBNPに比べて高値に出る傾向がある

(詳細は別紙参照)